

かるちょぷろじえくと2025

～サッカーから始まる人間力～

N

T



KYOJI

そりーぞ園  
てぞーる保育園

## ①自己肯定感と自信

「成功体験」が自信となり  
新たな目標へのステップとなる。  
一連のサイクルを繰り返すことで  
大きな自信が生まれ  
自己肯定感へと繋がる。

## ②人間性

しっかり挨拶すること、相手を  
リスペクトすることで人間性を養う。  
技術よりも大切なのは人としての成長。  
挨拶、礼儀、取り組む姿勢、その場で  
正しい行動を自分で考えて行なう。

## ③協調性とチームワーク

友だちを応援したり、  
協力したりすることで誰とでも  
仲良くできる協調性が生まれる。  
仲間と共に目標に向かう経験。

# 【育てたいのは未来を生きる力】 “非認知能力”

## ④主体性と挑戦する力

ピッチの中で、自分で考えて  
動く習慣が身に付き責任を持って  
行動することにより  
主体性が生まれる。

## ⑤メンタルと レジリエンス(回復力)

目の前に困難が現れても  
「僕(私)ならできる」という  
メンタルを養う。  
最後まで諦めない心を育む。  
挫折から立ち直るしなやかな心

## ⑥コミュニケーション能力と ルールを守る姿勢

挨拶はもちろん様々な人と関わること  
話を聞いたり自分の思いを伝えたりする  
ことでコミュニケーション能力が高まる。  
フェアプレーの精神(勝ち負け以上に  
大切なもの)



## サッカー保育をする理由



### 1 心と体の両方を育てる。

→走る、蹴る、止まるといった動きが体の発達を促進！  
感情のコントロールや集中力も育つ。

### 2 「ボール=楽しい」のイメージを幼少期から定着する。

→ボールを使ったスポーツはもちろん、体を動かすことに対して意欲的になってもらうのが目的。

### 3 パス、ドリブル、シュート等の成功体験が実感でき、自分の成長を感じられる。

→自己肯定感、自信、運動機能の向上様々な力がサッカーによって育まれるため。

### 4 仲間と協力してゴールを目指すことでコミュニケーション能力が自然と育つ。

→人の役に立つ嬉しさ・喜びが感じられる。友だちをリスペクトする心、互いに認め合うことで  
社会適応能力が身に付くため。

# 赤ちゃんからはじめるやさしいサッカー

「サッカーってまだ早いのでは？」とそう思われるかもしれません。  
赤ちゃん期から“**ボールに親しむ**”こと、まずは体を動かして遊ぶことが楽しいと思ってもらえる所からスタート☆幼いころから様々な動きをすることは脳に良い刺激となります。  
遊びの中にたくさんの玩具、遊具を取り入れ運動機能を養います。

## 1 ボールは最初のおもちゃ。

→やわらかく、転がり、追いかけたくなるボール。赤ちゃんから自然と興味を持てる存在。

## 2 自分でできたの気持ちを育てる。

ボールが転がった→追いかけて届いたなど小さな成功体験を積み重ねる。

## 3 育ちのタネがつまっている。

心地よい運動でご飯やお昼寝のリズムも安定し生活リズムが整う。



ボールまてまて～楽しいね♪(0歳児)



階段を登ったり、坂を滑り降りたり楽しいね  
プレイロック(1歳児)



手でも沢山ボールを触ろう！  
大きくなったらルールを覚えようね♪  
(2歳児)

# 専門のコーチ・資格を持った保育士によるサッカー指導

サッカーが好きでもっと挑戦したい子には資格を持つ指導者を通じて深い学びと高い達成感を得られるようにしています。

## ○サッカーカリキュラム

クーバーコーチング サッカースクール

## ○特別サッカー教室(JFAキッズプログラム)

福島ユナイテッドFC・FCシャイネン

## ○KYOJIプログラム

年少児～年長児を対象にキッズリーダー(JFA公認資格)やJFA公認D級コーチ指導者ライセンス JFA公認4級審判を取得した保育士によるサッカー練習を行います。(希望者のみ)

- 運動が少し苦手な子には、まず体を動かすことそのものが「楽しい」と思えるような環境づくりを重視！  
走ってみる、ボールを転がしてみるなどからスタートし「できた！」の喜びを積み重ねていきます。



# てぞーる保育園でしかできない「やさしい真剣勝負」

## 事業名：矜持カップ

内容：4・5歳児の混合チームを作り、総当たり戦で試合を行います。  
チーム名を子どもたちで決め、作戦を考え、  
力を合わせて優勝を目指します。  
フェアプレー、マンオブザマッチ、得点王、MVPを用いることで  
更に大会を盛り上げ、**本気の体験が「心」を育てます。**



## 事業名：矜持フェスティバル

内容：いつもとは違う雰囲気・広いピッチでサッカー大会を行います。  
年長児が2チームに分かれ、大会に向け、同じチームの友だちと  
協力しチーム一丸となって練習をしていきます。  
**「全力でやることの楽しさ」を知り小学校以降の学習や生活でも  
大きな自信となります。**



# スペシャルサッカーDAY

事業名: サッカー遠足

場所: あづま総合運動公園 とうほうみんなのスタジアム

内容: 福島ユナイテッドFCが主催するサッカー遠足に参加します。

スタジアムに行き雰囲気を感じ、天然芝でサッカーをする特別な体験をします。

年に1度のこの機会が子どもたちの目を輝かせ、**夢を育てます。**

本物に触れる体験が子どもの**心に火をつけます。**



## サッカーを通じた出会い

事業名: サッカー交流

内容 : 近隣の保育園や幼稚園・サッカークラブの友だちとサッカーをして楽しめます。

ねらい: 園外の友だちと遊んだり、サッカーをしたりして楽しめます。  
地域との関わりの場を設け、**社会のルールやマナーを身に付けます。**

事業名: KINDER SOCCER CUP 2025

内容 : 一般社団法人 日本キnderサッカー協会が主催するサッカー大会に参加します。

サッカークラブに所属している友だちと楽しい雰囲気の中、総当たり戦を行います。

# ～始動～ フットサルコートを設立

## ○サッカーだけでなく様々な活動に活用可能

より良質な環境で鬼ごっこ、ダンス、ドッジボールなどを行うことで、体を動かすことへの興味関心を引き出し、更なる運動能力の向上を図ります。



## ○地域交流やカップ戦の開催

近隣の保育園や幼稚園・サッカーチームの友だちとサッカーを楽しむ事で社会のルールやマナーを身に付けます。

## ○子どもたちに本物の芝を味わってほしい

子どもたちがより良い環境でサッカーに取り組めるよう、**FIFA(国際サッカー連盟)**  
**JFA(公益財団法人日本サッカー協会)**の認証を受けた**人工芝**を新たに整備します。  
この芝は、プロの試合でも使用される**世界基準の品質**を持ち、**安全性、耐久性**にも優れています。  
子どもたちには、小さなうちから【本物】の環境に触れることで、より高い意識と意欲を持って取り組んでもらいたいと考えています。

## ○食育活動・・・食べることは生きること

対象:0～5歳児(全園児)

内容:じゃが芋やトマト、トウモロコシなどの野菜を実際に収穫し、給食で食べます。

食を通して野菜を食べることの大切さを知り、免疫力を高めて丈夫な体作りへと繋がります。



## ○カリキュラム・・・子どもたちの「生きる力」を育むカリキュラム

対象:2～5歳児

内容:サッカーカリキュラム:スキルの種類を増やします。

ダンスカリキュラム:サッカーに必要なリズム感を養います。

イングリッシュカリキュラム:英語力を強化し世界を目指します。





MEMORY  
矜持フェスティバル  
サッカー遠足  
KINDER SOCCER CUP

